

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		伝統的工芸品支援事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	040203000537
総合計画の施策名		0402 商工業の振興					単独/補助	単独	所属課	050301 商工観光課
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							課長名	
	施策名	02 商工業の振興							グループ	商工観光グループ
	手段名	03 ③石材業の振興							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業			
法令根拠	伝統的工芸品産業の振興に関する法律						単年度繰返し (平成7年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市内で製造されている伝統的工芸品である真壁石燈籠の振興を図るため、真壁石材協同組合が実施する真壁石燈籠第6次振興計画を支援するとともに、業界団体への参画を行い、販路拡大、新製品の開発、伝統技術の継承及び後継者確保等を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 真壁石燈籠第6次振興事業への補助金交付 850,000円 伝統的工芸品産地交流促進協議会への参画及び負担金交付 300,000円 伝統的工芸品産業振興協会への参画及び負担金交付 50,000円 伝統工芸士の認定、表彰等に関する事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 真壁石材協同組合への補助金交付 伝統的工芸品産地交流促進協議会及び伝統的工芸品産業振興協会への参画及び負担金交付 伝統工芸士の認定、表彰等に関する事務 	各種会議への参加	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	伝統的工芸品展の開催数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	補助金及び負担金の交付額	千円	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 真壁石材協同組合及びその組合員 伝統的工芸品産地交流促進協議会 伝統的工芸品産業振興協会 伝統工芸士 	補助金・負担金交付及び参画を行う組合・団体数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	伝統工芸士	人	18.00	16.00	16.00	16.00	16.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
伝統工芸品である真壁石燈籠の振興を図る	伝統的工芸品展出展者数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	1,200	1,200	1,200	
	事業費計 (A)	千円	1,200	1,200	1,200		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)		07年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	1,200				
			合計	1,200		合計

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	真壁石材協同組合への補助金交付 伝統的工芸品産業振興協会への負担金交付 伝統的工芸品産地交流促進協議会への負担金交付 伝統工芸士の認定及び表彰に関する事務	真壁石燈籠第6次振興事業への補助金交付 伝統的工芸品産業振興協会への負担金交付 伝統的工芸品産地交流促進協議会への負担金交付	真壁石燈籠第6次振興事業への補助金交付 伝統的工芸品産業振興協会への負担金交付 伝統的工芸品産地交流促進協議会への負担金交付

	伝統工芸士の認定及び表彰に係る推薦	担当父1) 伝統工芸士の認定及び表彰に係る推薦	担当父1) 伝統工芸士の認定及び表彰に係る推薦
事務事業名	伝統的工芸品支援事業	事務事業No.	40203000537
		所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成7年4月5日に経済産業大臣指定の伝統的工芸品として「真壁石燈籠」が指定を受けた。 茨城県内の伝統的工芸品産地組合(桜川市/真壁石燈籠、笠間市/笠間焼、結城市/結城紬)が協力して展示会などに出席することにより、消費者に効果的にPRをし、新たな需要開拓に努めている。			
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・伝統的工芸品の価値を高めたい ・伝統工芸士が高齢化し、また、担い手もない			

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 伝統的工芸品の振興は、地域経済の活性化に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 伝統的工芸品である真壁石燈籠の伝承と振興は地場産業の発展につながるものであり、市が支援することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 伝統的工芸士の認定やイベント活動を通し、伝統的工芸品の価値を高めしていくことで、石燈籠の需要を増やしていく。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 真壁石燈籠の販路拡大や技術伝承に支障をきたし、石材業の衰退を招くため影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 伝統的工芸品は市独自で実施しているものであり、統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 各団体への補助・参画は本事業に不可欠なものであり、削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 伝統的工芸品である真壁石燈籠の振興は、地域経済全体の振興と結びついているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	新型コロナウイルス感染症が終息し、各種会議や伝統的工芸品展への参加者数が感染症流行以前の状態に戻りつつある。 令和6年度から伝統的工芸品の振興を目指して、3産地(桜川市・筑西市・笠間市)でワーキングチームが発足した。																												
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																													
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																													
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○	×																										
	低下		×	×																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認